



## CONTENTS

- 研修講座 ■ 所長挨拶
- 研究紀要の紹介

### 冬期ミニ道研～道徳教育と学級経営～

12月26日(月)北海道立教育研究所の米津洋伸氏を講師とし、「道徳教育と学級経営」の講座を実施いたしました。講座には、6市町34名の先生方が参加され、午前は「道徳教育」と午後は「学級経営」の二部に分かれ、講義や演習を通して研修を深めていきました。

#### 道徳教育

「道徳教育」では、「特別の教科 道徳」の概要や道徳教育の全体計画、年間指導計画などの在り方について講義のあと、実際の教材をもとに中心発問を考え、交流する演習を行いました。



#### 学級経営



「学級経営」では、特にPDCAのマネジメント・サイクルを踏まえた学級経営の講義のあと、自校の学校教育目標や自身の学級経営案を振り返り、現在の成果と課題を明らかにして、今後の学級経営の方針を立てていきました。

#### 所長挨拶

今年度も残すところあとわずかとなりましたが、日頃より胆振教育研究所の諸事業に対して、ご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、本教育研究所の使命は、胆振管内各小中学校の教育課題に応じた、教育の理論と実践に関する研究を行い、その成果を子どもの指導にあたっている先生方に直接還元し、指導方法の改善や教員の資質向上を図り、胆振の教育の推進に寄与することにあると考えております。

平成28年度も、研究委託校・実践校の全面的な協力をいただきながら、各関係機関との連携を密にして、管内的な視野に立ち、各種事業を実施することができました。ご協力、本当にありがとうございました。

また、今年度は、長期休業中に「写生会でのスケッチやデッサンなどの構図や色彩についての実技と指導法」「冬期ミニ道研～道徳教育と学級経営～」の2つの実践講座を開催し、それぞれの講座において研鑽を深めることができました。

今後とも、教育現場の課題やニーズをしっかりと受け止めながら、胆振管内の教育の発展充実に向けて、所員一同鋭意努力してまいります。一層のご支援とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

胆振教育研究所長 安宅 錦也



## 研究紀要(218号・219号・220号)が発刊されました!

### 研究委託校・実践校の研究 社会教育の実践



研究紀要218号

平成28年度胆振教育研究所の研究委託校・実践校の研究概要並びに社会教育の実践をまとめたものを掲載しています。

各校の児童生徒の実態や今日的課題を踏まえた研究となっております。私も研究所員も共同研究員の立場で校内研修会・公開研究会に参加させていただきました。

先生方には、本研究紀要の各研究委託校・実践校の研究内容を参考にされ、自校の研修に役立てていただければ幸いです。

### 調査課題研究

#### アクティブ・ラーニングの取組 アンケート

～アンケート結果の報告と考察～

次期学習指導要領改訂のキーワードの1つである「アクティブ・ラーニング」に関する意識や実践事項の調査を行い、そこから見える課題の解明を行いました。

今回のアンケート調査の結果から、アクティブ・ラーニングを実践している教科や領域に差があることや、教職員間や学校間でアクティブ・ラーニングに対する共通認識を図ることなどが、課題として見えてきました。研究紀要219号で、これらについて詳しくまとめましたので、自校におけるアクティブ・ラーニングの要素を取り入れた授業実践に役立てていただければと思います。



研究紀要219号

### 教育理論に関する研究活動

#### 子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実

～道徳科を要とした取組を通して～



研究紀要220号

本教育研究所では、平成27年度より「子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実」を主題に掲げ、教育理論に関する研究活動を進めてきました。

研究の2年次となる今年度は、成果を上げている道徳教育の実践の収集を行い、項目ごとに実践例を示すことで、道徳の授業づくりの具体が分かる内容になっています。また、学習状況をどのように評価するかということにも触れています。

児童生徒の道徳性を高めるための取組やよりよい道徳教育の推進のために、教育現場ですぐに活用できる情報を提供したいと考え、まとめました。本研究紀要を、指導の改善に生かすための一助としていただければ幸いです。